

ATM空きスペースを活用し

メール便授受を非対面化

コスト
削減

少人数
運営

ES向上

SDGs



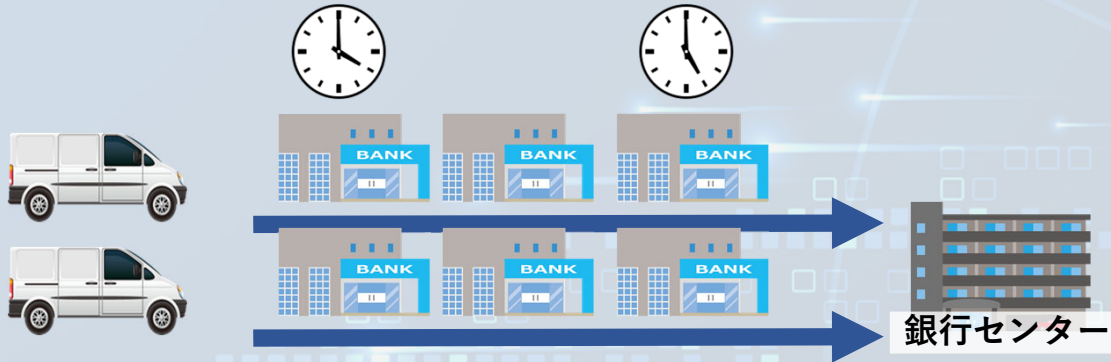
メール便無人授受システム BDL-10

メール便授受非対面化のメリット

Before

授受可能時間に制約 = 行員が支店にいる時間

例：1コースあたり3カ店しか周回できない



After

💡 メール便授受を非対面化
授受可能時間 = ATMの稼働時間

例：1コース当たり6カ店を周回できる



Point 2

行員はメール便授受の立会から解放され
メール便を待たずに帰宅できる

Point 1

メール便の周回効率UPで
必要コース数を大幅削減

コスト削減

SDGs

少人数運営

ES向上